議会だより

わどまり

おかげさまで

第150号

Contents

特集 **おかげさまで150号** ……2P

こんなことが決まりました ……4P

6名の議員が町政を問う ……5P

和泊町の未来を創るプロジェクト……11P

絆のバトン ……12P

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、町議会のホームページにリンクします。

～創刊から48年でこんなことが変わりました～

議会だより

48年前→A5サイズ・白黒
さまざまなサイズを経て、
H5年→表紙がカラーに
H30年～
→A4サイズ・フルカラー

子ども議会は
H10年に
始まりました♪

旧議事堂で議会の様子

H31年
新庁舎完成に伴い
新議事堂に移転

新議事堂

新マスコットキャラクター誕生により、H28年～議会だよりの表紙にリリリーちゃんが登場しました

H28年133号から
リリリーちゃんに
バトンタッチ

H6年から表紙に登場
していたりりーくん

町民の皆さまと議会をつなぐ議会だよりは
創刊48年を迎え今号で150号となりました。
今後もより一層、議会を皆さまに伝え、
皆さまの声にお応えできる議会広報誌を
発信して参ります。

特集 おかげさまで150号!!

議長は現在の
永野議長で
13代目 !!

Ｈ８年に初の
女性議員誕生！！
山口明日香議員は
歴代３人目の女性議員

議員定数

48年前	→	20人
Ｈ８年～	→	18人
H16年～	→	14人
現　在（H24年～）	→	12人

議員が 20 人いたころ

こんなことが決まりました

■令和２年　第４回　臨時会　（11月30日）

議案等番号	件名 【表の見方】 報：報告　承：承認　議：議案　陳：陳情　発：発議 ◎：全会一致　◇：賛成　◆：反対　ー：表決権なし	議員名（議席番号順） 山口明日香	島田浩樹	森富隆	川畑宏一	池田正一	喜井和夫	児玉実隆	東弘明	中田隆洋	山下幸秀	桂弘一	永野利則	議事結果
議 78	和泊町職員の給与に関する条例及び和泊町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	ー	原案可決
議 79	町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	ー	原案可決
議 80	和泊町会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	ー	原案可決
発 3	和泊町議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	欠	ー	可　決

※永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。
※桂弘一議員は忌引きのため欠席

■令和２年　第４回　定例会　（12月15日～18日）

報 7	専決処分の報告（県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の減及び規約変更）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
議 81	和泊町消防団拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 82	和泊町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 83	和泊町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 84	和泊町介護保険条例等の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 85	和泊町敬老年金支給条例の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 86	和泊町教育委員会委員の任命　詳しくはP12へ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	同　意
議 87	工事請負変更契約の締結（町営住宅玉城団地改修工事）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可　決
議 88	町道路線の変更	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可　決
議 89	令和２年度和泊町一般会計補正予算（第７号）の議決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 90	令和２年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算（第３号）の議決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 91	令和２年度和泊町介護保険特別会計補正予算（第２号）の議決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 92	令和２年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）の議決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 93	令和２年度和泊町下水道事業特別会計補正予算（第１号）の議決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 94	令和２年度和泊町農業集落排水事業特別会計補正予算（第３号）の議決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
議 95	令和２年度和泊町水道事業会計補正予算（第１号）の議決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	原案可決
	議員派遣	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可　決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可　決
	各常任委員会の閉会中の継続調査申出書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	可　決

※永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

一般質問とは??

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え・方針を聞き、疑問点を質すこと。

ココが聞きたい　一般質問

町政を問う!!

令和２年（12月）第４回議会定例会

交流人口増加対策!!

森 富隆（もり とみたか） 議員

公共施設の利用多様化に係る整備について

問 笠石海浜公園の広い敷地でより多くの町民が参加できる多様なイベント開催に向け、池の跡地や築山（つきやま）をフラットに再整備し、全面を芝生広場にする考えはないか。また、ステージ近くにトイレの増設や駐車場の拡張整備はできないか。

答 笠石海浜公園は、昭和60年から平成５年にかけて起債等を財源として、観光施設整備事業の一環として整備され、平成20年に都市公園に指定した。現在、池の跡地はプランターや鉢などの置き場として利用しているが、景観という観点では今後取り壊しを含め検討が必要と認識している。築山については、ステージイベント等の際に傾斜を利用することで参加者が見やすい観覧場所となっており、島内最大のイベントであるジョギング大会も滞（とどこお）りなく行えているので、現状のまま有効に活用していただきたい。

トイレについては、全て洋式に改修した男女トイレ及び多目的トイレがあり、相撲場横やゆりの塔にもトイレがある。ジョギング大会等、大きなイベントの際は簡易トイレの設置で対応できており、今後さらにトイレを整備する計画はない。

駐車場については、園内に拡張できるスペースが無く、相撲場横の広場や、イベント等の際は周辺畑地を借り上げて対応できているので、現在のところ拡張計画はない。

笠石海浜公園についても他の公園施設同様、老朽化が著しくなってきているため、都市公園長寿命化計画の策定等により既存の施設の改修等、維持管理を含め、総合的に都市公園のあり方を考えていく。

▲いろんなイベントに利用したい公園ですね

子どもを産み育てやすい環境を

山口明日香（やまぐちあすか） 議員

子育て支援について

問 保育園等の新規入所申込時に就労証明が必要だが、入所が確定していない時点での証明書取得が困難な場合、どのような対処をしているか。

答 年度途中の申請で、保育園等に空きがない場合は、申請書だけを受理した上で、入園まで待機してもらっている。保育園が、受け入れ可能な状態になった際に就労証明書等の提出をお願いしている。また、申請書を窓口に受け取りに来た際にも各園の状況を説明し、保護者等の御理解がいただけるよう努める。

問 わどまり保育園の駐車場は舗装されておらず雨天時には水たまり等があり、送迎に支障をきたしている現状だが、整備についてどのように考えているか。

答 わどまり保育園から駐車場の整備に関しての要望等はなく、職員や保護者等の協力を得て、砂利などを入れ、整地している。現在、わどまり保育園及び和泊幼稚園は、老朽化が進行しており、建て替え、合併や移転等も含めて協議をしているため、駐車場の整備は計画していない。

▲安全かつスムーズな送迎を

問 親子のふれあい広場として、遊具等が充実している公園は、なくてはならない場所だが、笠石海浜公園とあしきぶ公園の遊具等の充実を図り、親子連れが集える公園の整備はできないか。

答 笠石海浜公園の遊具は、点検業務を行ない、安全性の充実を図っている。

また、笠石海浜公園・いしご公園・ヤーシチ公園の遊具の老朽化が進んでいるため、都市公園長寿命化計画の策定調査を来年度から行う予定。

▲喜ぶ顔がみたいから

あしきぶ公園は、４つの遊具が設置されており、子ども達の安全を確保するために、老朽化している遊具の補強・補修を行っており、今後も、子ども達が楽しく安全で、運動能力・身体能力を高めていけるよう維持管理しながら、施設の充実が図られるよう取り組む。

昨今、遊具等の老朽化が原因の事故等が度々報告されているので、みんなに愛される公園をモットーに、安心・安全性を保ち、町民が、楽しく自然を感じられ、親しみやすく、各公園の特色を生かすことのできる整備が必要であると考えている。

▲子育て世代が集う公園へ

いのちつなぐ不妊治療

東（ひがし） 弘明（ひろあき） 議員

干ばつ対策について

問 **今年の梅雨明け以降、干ばつが続いたがどのような対策を講じてきたか。**

答 サトウキビ栽培は、夏の干ばつを乗り越えることが収穫量に大きく影響する。毎年梅雨明けと同時に、サトウキビ増産推進対策本部を設置し、広報車や有線テレビの文字放送等を活用して、かん水啓発を行っている。

今年度は、比較的降雨に恵まれたが、糖業振興会のトラックタンカーにおいては、7月から11月までの実績で、サトウキビへのかん水624回、サトウキビ以外へのかん水を114回行っている。

また、今年度トラックタンカーを更新して大型化したことにより進入できなくなったほ場については、園芸振興会の小型トラックタンカーを活用している。

今年は、バレイショ植付時期に干ばつ傾向となり、有線テレビやユーチューブを活用した「畑かん営農番組」を放映し、移動式スプリンクラーの活用方法や畑かん利用による増収効果、ソウカ病の予防対策等について農家へ周知した。

▲埋設型スプリンクラーで単収アップ

その結果、畑かんを積極的に利用するバレイショ農家が増加傾向にある。

今後も、畑かん施設の有効活用について情報発信を行い、農家の収益向上に繋がるように支援していく。

少子化対策について

問 **本町の不妊治療の現状と取り組みは。**

答 本町の不妊治療の現状は、夫婦が治療を受ける際に必要な旅費助成を行っており、助成を通じて把握している。

過去3年間の助成活用状況は、平成29年度1組、30年度2組、令和元年度3組の方が申請している。

この旅費助成は、平成22年度から町単独事業で始まり、平成25年度には県の補助金も始まったため要綱を一部改正して実施しており、指定医療機関で治療を受けた方が対象となる。

助成内容は、沖永良部から鹿児島又は沖縄までの船賃又は航空運賃と、宿泊費の3分の2を助成しており、周知方法としては、ホームページやサンサンテレビによる広報と窓口でのパンフレットの提示などで啓発している。

国においては、少子化対策の重点施策として、不妊治療助成の拡充が打ち出されており、国の動向も注視しつつ、今後も安心して子どもを産み育てる環境づくりに引き続き取り組む。

1998年基本政策大綱に「不妊治療の保険適用」を掲げる
2000年署名活動をして55万人の署名集める

2004年当時の坂口厚生労働大臣（公明党）のもと、
「年1回10万円助成（通算2回まで）」特定不妊治療助成制度が創設される

その後も助成額や回数について提言を重ねる

	事業開始時	現在
助成額	年１０万円	初回３０万円 ２回目以降１回１５万円
回数	２回	～４０歳まで６回 ※４０～43歳は３回
所得制限	６５０万円	７３０万円

https://www.youtube.com/watch?v=Se46DDVnWyw

現行の助成制度は初回30万円まで、その後は1回15万円まで、凍結胚移植は7.5万円の支援がおこなわれている。
https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20201124/pol/00m/010/002000c

▲公明新聞から抜粋

財政健全化の必須

中田 隆洋（なかだ たかひろ） 議員

財政について

問　財政健全化に向けた取り組みは。

答　財政指標は、依然として厳しい状態にある。今後も人口減少により税収の伸び悩み、高齢化による扶助費の増大、既存施設の維持管理・運営、総合交流アリーナ建設等厳しい財政運営が予想される。さらに財政健全化に向け、自主財源確保、収入対策の強化、起債の抑制、経常経費の削減、受益者負担等の見直しを行い健全化に努めていく。

問　自主財源確保に向けた取り組みは。

答　令和２年度の自主財源は、約14億円、自主財源比率は22.5%である。引き続き、町税等の収入確保と未収金対策、受益者負担の見直し、町の保有する未利用財産の売却を行い、自主財源の確保に努める。また、ふるさと納税の推進体制を強化し、企業版ふるさと納税も実施していく。さらに、産業の振興、人口減少の抑制、交流人口の増加に取り組み、経済の活性化による税収の確保につなげる。

4．町有財産の状況（令和元年度末）

名　称	現在高		名　称	現在高
土　地	3,636,663㎡		基　金	2,588,962千円
建　物	84,430㎡	内	財政調整基金	1,010,000千円
有価証券	43,600千円		公共施設等総合管理基金	515,000千円
車両等	98台	訳	そ の 他	1,063,962千円

5．町債残高の状況（令和元年度末）　（単位：千円）

区　分	現在高	内　容
過疎対策事業債	2,540,596	道路整備・土地改良事業等
辺地対策事業債	524,362	消防ポンプ車整備・道路整備事業等
公営住宅建設事業債	1,339,195	町営住宅建設事業
教育・福祉施設等整備事業債	980,613	小中学校校舎建設事業等
臨時財政対策債	2,056,891	地方交付税の代替措置
その他	2,523,388	災害復旧事業債等
合　計	9,965,045	

▲町の貯金と借金

問　新型コロナ関連の経済対策の成果は。

答　「ちばらーチケット」「固定費支援緊急対策事業」「商業者等事業継続支援事業」「商業者等感染予防資材購入事業」「島泊キャンペーン」「島感キャンペーン」など、事業者及び町民から大きな反響もあり、業績回復を感じている事業者もある。

これらの町の独自施策によって、経済の下支えを行うことが出来たと考えるが、財政に反映するかは、令和２年分の所得申告等の状況をみないと判断するのは困難である。

提言　財政健全化は、自主財源の確保と経常経費の削減、国費事業を導入し町債を抑制、起債に応じた基金の積み上げをしていかなくてはならない。自主財源確保は、町民所得の向上を図りながら、町有財産の売却、未収金対策の強化を進めなくてはならない。経常経費の削減は、ＩＣＴ等による業務の簡略化や業務の民間委託による人件費の抑制を進めなくてはならない。国費事業の導入は、早期に地域強靭化計画を策定し、国費事業の申請を進めなくてはならない。

地域振興について

問　人口減少、高齢化により字運営が厳しくなると予想されるが、将来的な地域運営組織をどう考えるか。

答　最終的には字の合併等も検討しながら取り組んでいくが、一部共同できるところは共同で運営して行く方策も考えられる。

問　地域における定住促進住宅用地を推進すべきと思うが、住宅政策をどう考えるか。

答　町有地を活用し、用地整備の検討を進めながら、民間活力による空き家の改修事業を実施していく。

問　地域在住職員の採用をどう考えるか。

答　居住地を限定した採用はしておらず、和泊町職員採用試験委員会による推薦及び試験結果を総合的に勘案して決定していく。

活用度と効果の高い事業推進を！

川畑（かわばた） 宏一（こういち） 議員

第６次和泊町総合振興計画について

問 **ようてぃあしばープロジェクトの進捗状況は。**

答 庁内の調査・検討機関として「和泊町総合交流アリーナ建設事業プロジェクトチーム」を、町長の諮問機関として各種団体の代表者で構成された「和泊町総合交流アリーナ建設事業推進協議会」を立ち上げて事業推進を図っており、令和６年度の供用開始を予定している。

各種イベントや交流、教育、防災、生涯学習、子育て世代が活用できるスペースなど多様なニーズに応え、町民が集い楽しめる施設となるよう、多くの意見を得ながら関係機関と連携し慎重かつ迅速に取り組む。

※プロジェクトについてはP11参照

▲みんなが集い楽しめる場所を!!

障害者福祉について

問 **障害者雇用促進の考えは。**

答 障害者の雇用・就労は、経済的自立や社会参加・社会貢献の基本となる。

行政では、和泊町障害者活躍推進計画を策定している。国が定める障害者雇用率を達成しているが、今後も継続して募集・採用に努め、配慮や環境整備などに取り組み、更なる活躍の場が広まるよう進めていく。

民間においても、適性と能力に応じて働くことができる環境づくりのため、関係機関と連携を図りながら地域で就労継続支援ができるよう取り組んでいる。

また、一般就労を希望し、企業等への雇用又は在宅就労等が見込まれる方に対し就労移行支援の給付と相談体制の充実に努める。

地域活性化について

問 **整備が進む世之主団地は、地域（校区）の活性や振興に資するという主旨により多額の予算が投じられたが、具体策は。**

答 老朽化した内城Ｂ団地の建替事業とし、３戸増の８戸とした。

２ＤＫ・３ＤＫ共に４戸ずつの計画で、家族世帯及び子育て世帯が入居することにより、人口増加に伴う小・中学校の生徒数の増加や地域活動の活性化を見込んでいる。

入居者募集は、防災無線や町ＨＰ（ホームページ）での広報の他、子育て世帯等が集まるイベント等で案内を行い、また、子育て世帯や多子世帯の抽選回数を増やす倍率優遇方式の採用を検討する。

服務規程について

問 **会計年度任用職員の服務規程遵守への取り組みは。**

答 辞令交付式にて、服務宣誓式及び地方公務員法に基づき、服務の根本基準である「すべての職員は全体の奉仕者として公共の利益のために勤務しなければならない」旨を訓示し研修を受け、宣誓書を提出して１３２名が業務に就いている。

また、人事評価も、倫理性規律性などに着眼点を置き、面談にて課長・局長による指導・助言等を行い、服務規程などについても意識付けを行う予定。

和泊町の未来へ!!

池田 正一（いけだ しょういち） 議員

第６次和泊町総合振興計画について

問 **みへでいろプロジェクトの取り組みと地産地消の施策は。**

答 荒天時の船舶による食料品の輸送手段が断たれたときに島の暮らしを守るため、生鮮食品確保は、県主催の「台風発生時等における離島の物流に関する対策会議」において検討されており、現在、郡内各市町村の対応の取りまとめをしている。

今後は、郡内の取り組み状況を把握し、船舶定期便以外の輸送手段も検討が必要だが、県及び郡内市町村の意見を踏まえながら推進していく。

地産地消対策は、まず家庭菜園の普及や「わどまり」坪農園モデル事業」等で既存の直売所が活性化し、地域の賑わいにつながり、水産加工所や農産物加工センターを活用した加工品開発により長期保存が可能になれば災害時にも役立つため島の農林水産物を活かした島内自給率向上につながると考える。

問 **むうるほうらしゃプロジェクトの取り組み状況や、自転車購入促進緊急対策補助金の申請状況は。**

答 国が進める「自転車通勤推進企業宣言プロジェクト」に参加しており、これから自転車通勤の活動を着実に推進していく。

役場職員の通勤状況は「持続可能なまちづくり全庁３大運動」のひとつとして、毎週水曜日にノーカーデーを推進している。

自転車購入促進緊急対策補助金は、申請開始の９月14日から11月末まで55件の申請があり、86台販売された。

※各プロジェクトについてはP11参照

次期町長選への出馬は

問 **来年７月で任期が満了するが、次期町長選挙出馬への考えは。**

答 町長就任から今日まで、町民の多大なご理解・ご協力・ご支援をいただき、職員と一丸になって、後世に誇れる和泊町建設のため、「町民が輝き活力と潤いと魅力あふれる和泊町」の実現を目指して、「活力ある産業の振興」「教育文化の振興と心豊かな人づくり」「社会福祉と保健医療の充実」「交通基盤等生活基盤の整備」の主要施策を推進し、第５次総合振興計画の実現に取り組んできた。

さらに10年後を目標とする第６次和泊町総合振興計画も策定され本年度スタートした。

その中で、町長としての去就について後援会や関係者と相談しながら熟慮を重ね、自分の立ち位置も考えてきた結果、今期をもって本職を退任することとした。

これまでのご支援に心から感謝とお礼を申し上げます。

後任には、激しく変動する時代を若さと情熱をもって、積極的に行動するリーダーが望まれる。このことは町民が判断することではあるが、願わくば、本町の現状を理解し、多様化する町民のニーズに対応する行政推進と厳しい財政運営に十分な認識を持ち、自らの心身を町政発展と福祉向上に努めていただきたい。

なお、残りの任期をしっかりと町政の推進に努め、町民の福祉向上のために精一杯努力していくので、町民の皆様のなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

pickup 和泊町の未来を創るプロジェクト

第６次和泊町総合振興計画の中で掲げているプロジェクトについて、一般質問で取り上げたものを簡単にご紹介！！

ようてぃあしばープロジェクト ＝集まって遊ぼう

スポーツ・文化の拠点施設を建設。各種イベント・スポーツ大会や、生涯学習施設としても利用する。子育て世代が活用できるスペースを設け、普段でも気軽に集い楽しむ場にする。災害時の避難所としても利用。

みへでぃろプロジェクト ＝ありがとう

家庭菜園の普及、新たな販売ルートの開拓、野菜を持ち寄る集いの場や楽しみを創出。地産地消で島内自給率向上を図り、荒天時に物資が届かないときも生鮮食料が確保できる、災害に強いまちづくりにつなげる。

むぅるぼうらしゃプロジェクト ＝みんな喜ぶ

自転車の活用を推進し、町民の健康増進や環境負荷の低減を図る。観光客の移動手段の選択を増やす。心豊かな空間と時間を創り、新たなサービスや施策を生み出す。

さらに詳しく知りたい方は
和泊町ホームページにGO!!

QRコード

議会ボランティア活動報告

たくさん咲かそう えらぶゆりの花

10 月24 日に議会議員12 名、企画課職員3名、議会事務局職員3名で伊延字にある花壇のゆりの球根植付作業や、周辺の草刈り作業をおこないました。
春にたくさんのえらぶゆりが咲き誇るのを楽しみにしています。
みなさんも庭先にゆりの花を植えてみてはいかがでしょうか。

町民エッセイリレー 絆のバトン

テーマ：「今」

沖永良部島に帰島し、7年目を迎えました。

島へ帰ってからは両親が電照菊の栽培をしていたので、それを継ぐ決意で就農しました。高校生まで農業の手伝いをすることはあったので、すぐに慣れるだろうと高を括っていましたが、いざ始めてみると土づくりや苗づくり、施設の補修など、覚えることも多々ありました。

出荷シーズンになると徹夜で作業することも屡々ありました。

そんな中でも、一から栽培に携わり、市場で出荷した花が売れたときは何とも言えない最高の気分になったのを今でも鮮明に憶えています。

現在は独立し、トルコギキョウの栽培を軸に、植物の栽培を新規の事業として取り入れ、日々の農作業に励んでいます。

毎年いろいろな問題がありますが、一つひとつ解決し、楽しみながら農業が出来ることに有難みを感じる毎日です。

ところが、昨年から新型コロナウイルス感染症の影響により、花業界も大変な打撃を受けました。今現在も収束の目処が立たない状況です。そんな我慢しながらの日々ですが、唯一の楽しみは一昨年誕生した長男の成長です。毎日笑顔で迎えてくれるこの子の為にも、やはり頑張るしかありません。

子供たちが生きていく世の中がどのようになっていくのか想像もつきませんが、一日でも早くコロナが収束し、世界中に幸せな日々が戻ることを切に願います。

プロフィール

田中　巖 さん（43歳）
妻：彩さん　長男：慶くん
国頭出身和泊在住。福岡県の通信システム会社で勤務していたが、6年前にUターンし、花農家へ転職。

教育委員会委員任命

任期満了に伴い、引き続き任命の同意

宗　武彦氏　（71歳）

投票総数	11票		
賛成	11票	反対	0票

▲ 町長から任命を受ける宗氏

教育委員って なぁに？？

委員数は４名で、任期は４年。教育に関する一般方針の決定や、教育委員会規則の制定、その他重要な事項の決定をします。

編集後記

もっと町民に読んでもらえる議会だよりを目指して、読者目線に立ち、中学生でも理解できるよう簡潔な表現に努め、町民参加型の議会広報にしていきたい。そして、議会だよりを通じ、町民と議会の関係を戦略的かつ継続的に構築・維持することができれば素晴らしい。

文責　中田　隆洋

■発行責任者■
議会議長　永野利則
■編集責任者■
委員長　児玉実隆
副委員長　中田隆洋
委員　島田浩樹
委員　山口明日香

今号の表紙

今回の表紙は「第50回新春町内一周駅伝競走大会」
今年は寒波と悪天候で例年よりも寒い元旦となりましたが、選手の皆さんが寒さも吹き飛ばすような力強い走りを見せてくれました。
2021年、いい年になりますように!!

■発行／令和３年２月25日　鹿児島県和泊町議会
■編集／議会報編集委員会　〒891-9192　鹿児島県大島郡和泊町大字和泊10番地
TEL 0997-92-2569 FAX 0997-92-3176　ホームページ http://www.town.wadomari.lg.jp/

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、町議会のホームページにリンクします。